湯野尾町自治会　防災マップ（１／２）

◎大雨時、河川や水路には近づかないようにしましょう！！

災害は自助・共助・公助
～この3つの行動が災害に対応する最も大切な基盤です～

令和６年３月作成

災害伝言ダイヤル

○大規模な災害が発生した場合にサービス開始！！

171

【171】をダイヤルし、音声に従って伝言の録音・再生を行います。
携帯電話からも利用できます。

湯野尾町自治会避難場所

（開設状況の確認をお願いします。）

≪広域避難場所≫
- ○本野ふれあい会館
- ○本野小学校屋内運動場（水害時✕）

≪地区避難場所≫
- ○湯野尾集落センター（水害時✕）
- ○下組公民館（水害時✕）

災害時の連絡先

○災害が発生しそうなときや、発生したときは連絡を！！

- 諫早市役所（情報連絡室・警戒本部・対策本部）　TEL　22−1500
- 諫早消防署　TEL　22−0119
- 諫早警察署　TEL　22−0110

◎避難情報など防災情報の入手先

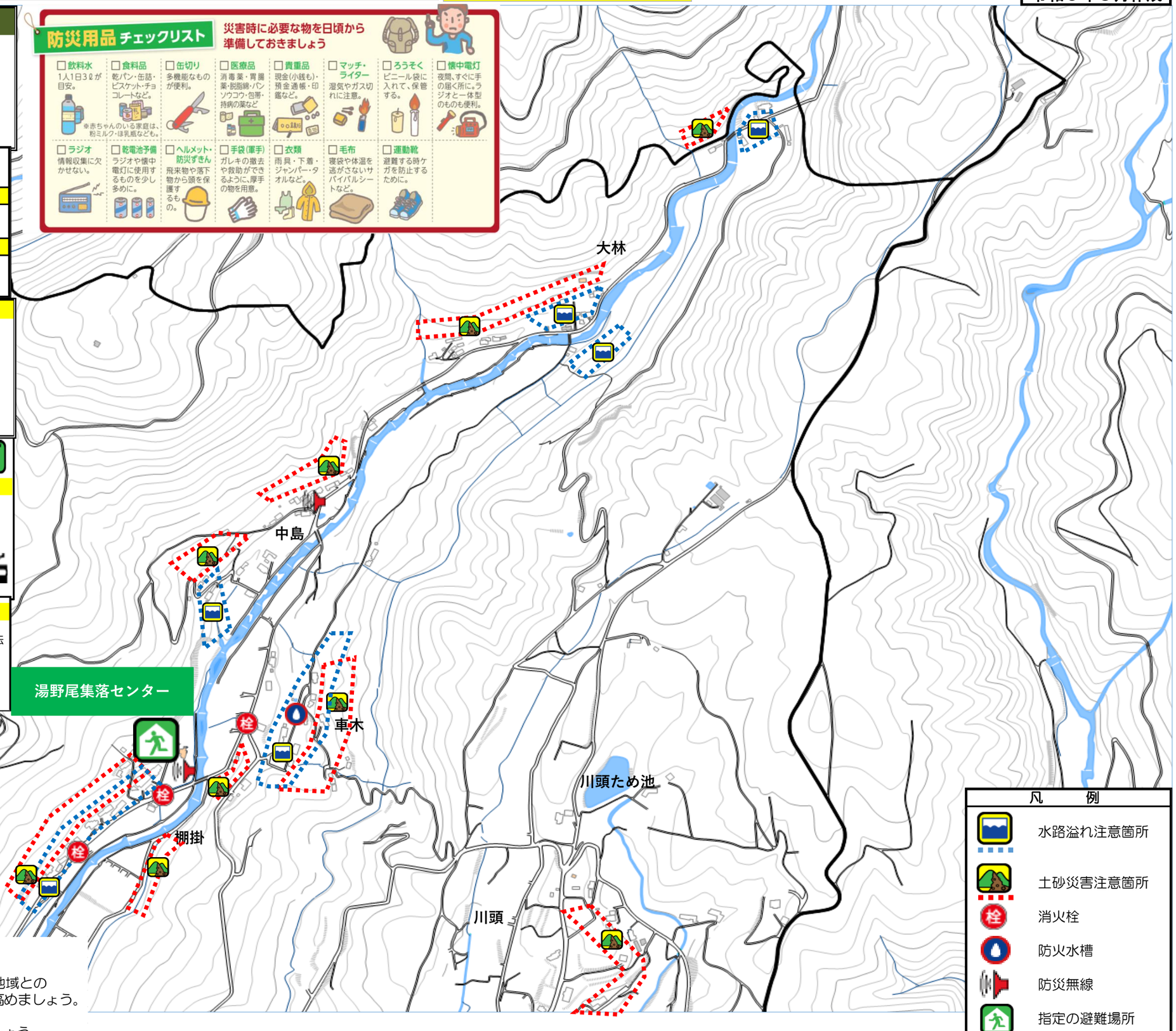
- 防災行政無線（屋外スピーカー）
  →よく聞き取れないときは　0120−419−009
- エフエム諫早（周波数　77．1MHz）
- 諫早ケーブルテレビ（３ｓｕｎテレビ）テロップ
- 防災メール、防災ＦＡＸ（事前に登録が必要です）
- 緊急速報メール（諫早市内の携帯電話メールに一斉配信）
- 市ホームページ　・その他テレビ・ラジオなどの放送媒体

◎避難や避難時の連絡方法について確認しよう‼

- 家族防災会議
  役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう。
- 避難場所・道順の確認
  避難場所はどこか、道順はどうするかなどを確認しましょう。
  海辺などにいる時に地震が起きた場合には、すぐに高い所に避難しましょう。

◎地域のことは地域で守ろう！

- 自主防災組織
  地域住民などで助け合う自主防災組織に参加し、地域とのコミュニケーションを深め、防災について意識を高めましょう。
- 防災訓練
  地域で行われる防災訓練には、積極的に参加しましょう。



湯野尾町自治会　防災マップ（２／２）

◎大雨時、河川や水路には近づかないようにしましょう！！

災害は自助・共助・公助
～この3つの行動が災害に対応する最も大切な基盤です～

令和６年３月作成

災害伝言ダイヤル

○大規模な災害が発生した場合にサービス開始！！

171　【171】をダイヤルし、音声に従って伝言の録音・再生を行います。
携帯電話からも利用できます。

災害時の連絡先

○災害が発生しそうなときや、発生したときは連絡を！！

・諫早市役所（情報連絡室・警戒本部・対策本部）
　TEL　２２－１５００
・諫早消防署　TEL　２２－０１１９
・諫早警察署　TEL　２２－０１１０

湯野尾町自治会避難場所

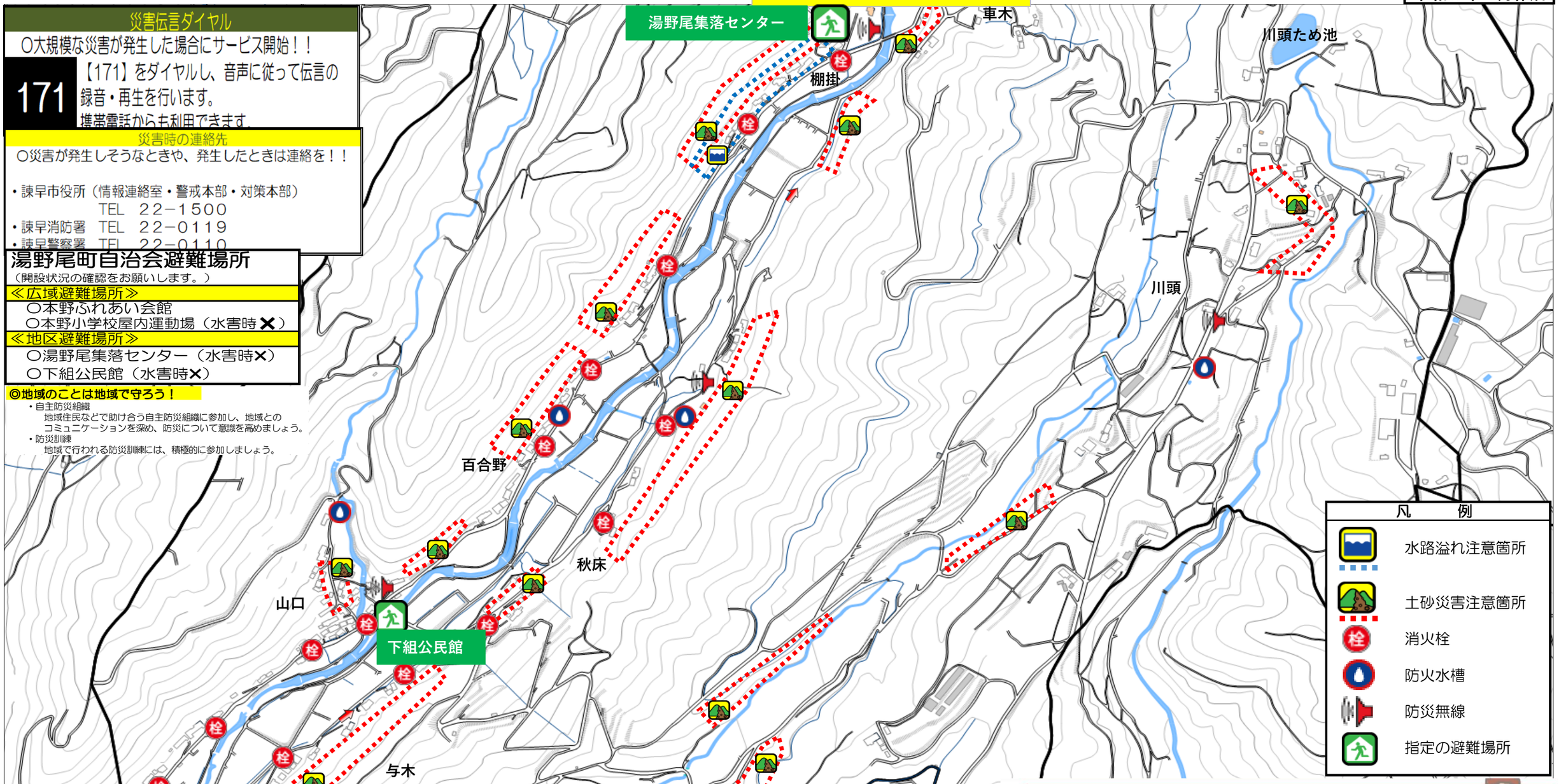
（開設状況の確認をお願いします。）

≪広域避難場所≫
○本野ふれあい会館
○本野小学校屋内運動場（水害時✕）

≪地区避難場所≫
○湯野尾集落センター（水害時✕）
○下組公民館（水害時✕）

◎地域のことは地域で守ろう！

・自主防災組織
　地域住民などで助け合う自主防災組織に参加し、地域とのコミュニケーションを深め、防災について意識を高めましょう。
・防災訓練
　地域で行われる防災訓練には、積極的に参加しましょう。



◎避難や避難時の連絡方法について確認しよう‼

・家族防災会議
　役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう。
・避難場所・道順の確認
　避難場所はどこか、道順はどうするかなどを確認しましょう。
　海辺などにいる時に地震が起きた場合には、すぐに高い所に避難しましょう。

◎避難情報など防災情報の入手先

・防災行政無線（屋外スピーカー）
　→よく聞き取れないときは　0120－419－009
・エフエム諫早（周波数　７７．１ＭＨｚ）
・諫早ケーブルテレビ（３ｓｕｎテレビ）テロップ
・防災メール、防災ＦＡＸ（事前に登録が必要です）
・緊急速報メール（諫早市内の携帯電話メールに一斉配信）
・市ホームページ　　・その他テレビ・ラジオなどの放送媒体

防災用品チェックリスト

災害時に必要な物を日頃から準備しておきましょう

□飲料水 1人1日3ℓが目安。 ※赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳瓶なども。	□食料品 乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。	□缶切り 多機能なものが便利。	□医療品 消毒薬・胃腸薬・脱脂綿・バンソウコウ・包帯・持病の薬など	□貴重品 現金(小銭も)・預金通帳・印鑑など。	□マッチ・ライター 湿気やガス切れに注意。	□ろうそく ビニール袋に入れて、保管する。	□懐中電灯 夜間、すぐに手の届く所に。ラジオと一体型のものも便利。
□ラジオ 情報収集に欠かせない。	□乾電池予備 ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。	□ヘルメット・防災ずきん 飛来物や落下物から頭を保護するもの。	□手袋(軍手) ガレキの撤去や救助ができるように、厚手の物を用意。	□衣類 雨具・下着・ジャンパー・タオルなど。	□毛布 寝袋や体温を逃がさないサバイバルシートなど。	□運動靴 避難する時ケガを防止するために。	